

## 平成 30 年度 日本気象学会中部支部研究会

1. 日時： 2018 年 11 月 29 日(木曜日) 13:00～18:30 (終了後、懇親会)  
11 月 30 日(金曜日) 09:20～15:30

2. 場所： 三重大学 環境情報科学館 3F (三重県 津市)

### 3. 交通案内：

三重大学へは、**近鉄 江戸橋駅**から**徒歩 15 分**、

または、

**JR/近鉄 津駅 東口バスのりば「4 番」**から三重交通バスで、

「白塚駅」(06 系統)、「千里駅」(40 系統)、「三重病院」(51 系統)、

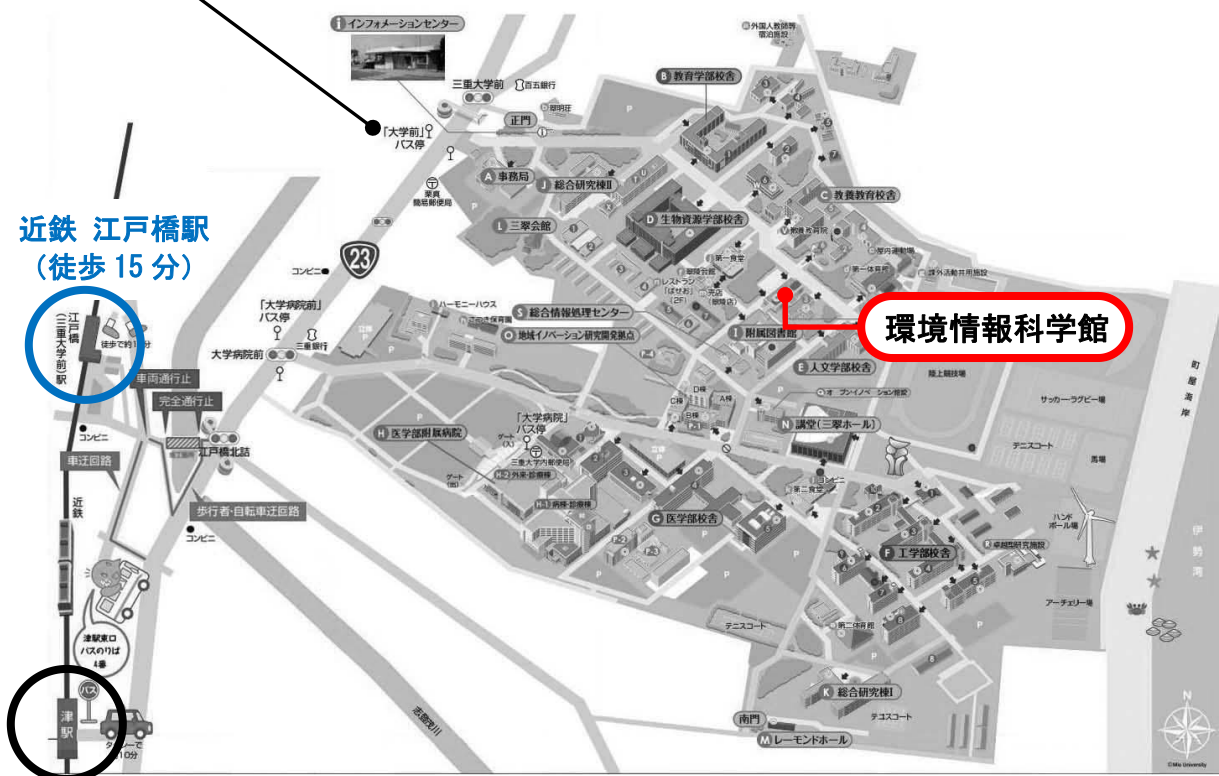
「棕本(むくもと)」(52 系統)、「豊里ネオポリス」(52 系統)、

「サイエンスシティ」(52 系統)、「三行(みゆき)」(53 系統)、

「高田高校前」(56 系統)行きで、

「**三重大学前**」下車。

詳細は <http://www.mie-u.ac.jp/traffic/> をご覧ください。



**JR/近鉄 津駅 東口バスのりば「4 番」**

JR で名古屋方面からお越しの場合、”快速みえ” をご利用ください

## ◇ 支部研究会のプログラム

### 11月29日(木) 13:00 ~ 18:10

13:00~13:10 開会の辞 松村 崇行 (中部支部長/名古屋地方気象台)

13:10~14:50

- (1) 伊藤 忠 (気象予報士会東海支部) ..... 1  
「平成30年7月豪雨」で瀬戸内地方に見られた2つの局地的大気構造
- (2) 西尾伊三男 (岐阜地方気象台) ..... 7  
線状降水帯の解析「平成30年7月豪雨」により岐阜県で発生した大雨事例より
- (3) 森下 和也 (三重大学) ..... 11  
竜巻発生環境場の解析
- (4) 鈴木 健 (三重大学) ..... 13  
濃尾平野での夕立発生場の解析
- (5) 吉田 信夫 (多治見気象の会) ..... 15  
2018年夏の猛暑記録からみた2007年8月16日の高温記録の評価

15:00~16:40

- (6) 奥村 咲良 (富山大学) ..... 17  
梅雨期における日本付近の可降水量と降水量の長期変化について
- (7) 山本 園実 (名城大学) ..... 21  
少雨域における降水の鉛直勾配
- (8) 王 露莎 (名古屋大学) ..... 23  
内モンゴルにおける7月降水をもたらす擾乱とその年々変動(1961-2007)
- (9) 松岡 優輝 (三重大学) ..... 29  
寒気吹き出し中に見られる三重県北部の降雪
- (10) 太田 圭祐 (三重大学) ..... 31  
2017/18年冬季の異常な北半球大気循環を形成する要因

16:50~18:10

- (11) 町田 卓也 (東海大学) ..... 33  
冬季の東日本沖合に発生する収束帯による陸上への影響
- (12) 三宅倫太郎 (東海大学) ..... 37  
駿河湾湾奥部における海面総熱収支の評価
- (13) 金杉 和樹 (東海大学) ..... 41  
全球海面淡水フラックスプロダクトの相互比較
- (14) 吉川 契子 (清水西高校) ..... 45  
2018年夏の静岡における気温と熱中症

18:30~20:00 懇親会 パセオ (三重大学生協 2F)

## 11月30日(金) 09:20 ~ 15:30

09:20~10:40

- (15) 榎野 泰夫 (気象予報士会東海支部) ..... 47  
これが大気圧だったのか—『空気分子(N<sub>2</sub>・O<sub>2</sub>など)の運動』の視点で—
- (16) 富山 芳幸 (気象環境教育センター) ..... 51  
予報と社会の安全: 米国気象学会の挑戦と新たな展望
- (17) 大野 隆史 (名古屋市環境科学調査センター) ..... 52  
気温測定データに地表面形態の違いが及ぼす影響
- (18) 佐藤 真樹 (魚津埋没林博物館) ..... 55  
魚津埋没林博物館で2018年に観測された過去最多となる上位層気候と気象

10:50~12:10

- (19) 杉原 直樹 (三重大学) ..... 57  
南極振動由来のソマリジェットが及ぼす南北両半球間遠隔影響
- (20) 中西 友恵 (三重大学) ..... 59  
アフリカ サヘルの対流変動が駆動する北半球大気循環パターン
- (21) 永田 桃子 (三重大学) ..... 61  
シベリアの森林の消失が北半球の大気循環に及ぼす影響
- (22) 民田 晴也 (名古屋大学) ..... 63  
レーダ降雪観測の高度化を目指して —降雪粒子のミリ波散乱の特徴—

13:20~14:40

- (23) 小林 達也 (信州大学) ..... 67  
千曲川流域における年降水量の非定常頻度分析
- (24) 松丸 仁 (信州大学) ..... 71  
千曲川流域における年最大日降水量の非定常頻度分析
- (25) 葛葉 泰久 (三重大学) ..... 75  
河川計画策定という観点からの極値降水量データの非定常性に関する研究
- (26) 小栗 祥希 (三重大学) ..... 79  
平成29年 台風第21号に関する調査・研究 —浸水メカニズムについて—

14:40~15:20 基調講演「梅雨期の黒潮が大気に及ぼす影響」 ..... 83  
万田 敦昌 三重大学 准教授

15:20~15:30 講評・閉会の辞  
立花 義裕 三重大学 教授 (中部支部理事)

**講演時間は20分(講演15分、質疑応答5分)**